



第9回 大阪マラソン



チャリティ寄付先団体公募

募集要項



チャリティ文化の普及をめざして。 合言葉は「みんなでかける虹。」

大阪マラソンは「みんなでかける虹。」を合言葉に、すべてのランナーに大阪マラソンのチャリティプログラムにご賛同いただき、虹にちなんだ7色のチャリティカラーに沿ったチャリティテーマから、ご自分が支援したいテーマを選んでチャリティ募金にご協力いただいています。

大阪マラソン組織委員会（以下「組織委員会」という。）では7つのチャリティテーマを設定し、テーマごとに2団体、計14団体を寄付先団体として選定してまいりました。チャリティの発展と普及、さらなる社会貢献をめざし、第9回大会＜2019年・秋開催予定＞からは、新たなチャリティ公募枠として「チャレンジパートナー」枠を導入します。従来の7テーマ・14団体は「フラッグシップパートナー」として従来通りの公募内容での募集としますが、「チャレンジパートナー」枠では、より幅広い団体の参加をめざし、各テーマ（7色のチャリティカラー）ごとの採用団体数は設定せず、多様なテーマで15団体の募集を行います。ぜひとも趣旨にご賛同いただき、積極的なご応募をお待ちしております。

● 世界基準のチャリティマラソンをめざして ～ 多彩な取り組み

1 ランナー全員がチャリティに参加

参加ランナーには、参加料とは別に、おひとり様 2口以上（1口500円）のチャリティ募金をお願いしております。チャリティ募金は、支援を希望されたチャリティテーマに属する寄付先団体（※フラッグシップパートナーの団体）に対して寄付されます。

2 寄付を集めて走るチャリティランナー

大阪マラソンでは自分が支援したい寄付先団体を選び、家族や友人、その団体の活動に共感した人などから7万円以上の寄付金を集めて大阪マラソンに出場できる「チャリティランナー」を募集しています。第9回大会も「チャリティランナー」を募り、チャリティへの参画意識の向上と寄付先団体との交流を通じて、チャリティを拡充していきます。チャリティランナーが集めた寄付金は全額、「チャレンジパートナー」と「フラッグシップパートナー」の当該団体に振り込まれます。

3 大阪マラソンは下記のようなチャリティプログラムをたくさん用意しています。

- 大阪マラソンアンバサダーを活用した広報PRの展開
- 大阪マラソン特設サイトの開設（ジャパンギビング内／大阪マラソンアンバサダー・チャリティランナー）
- なないうろチャリティTシャツ、なないうろチャリティキャップ、なないうろウィンドブレーカー、なないうろチャルティアームウォーマーニックネーム入りナンバーカードの販売
- 応援メッセージ（寄付先団体・大阪マラソンアンバサダー）
- 公式、関連イベント、商店街イベントとの連携などあらゆる機会を活用した募金活動（募金箱の製作・設置等）
- EXPO会場でのチャリティ活動（チャリティブースの設置・チャリティステージ等）
- 寄付先団体と連携した広報PR活動

1 公募の目的

チャリティ活動のさらなる発展と拡大をめざし、寄付先団体を幅広く募ることにより「チャリティマラソン」としての支援の輪を広げ、チャリティ文化の普及をめざしてまいります。

2 公募内容（チャレンジパートナー枠とフラッグシップパートナー枠の選択）

第9回大会より寄付先団体公募の枠組みをリニューアルし、新たなチャリティ公募枠として「チャレンジパートナー」枠を導入します。従来の7テーマ・14団体は「フラッグシップパートナー」として従来通りの公募内容での募集。「チャレンジパートナー」枠では、より幅広い団体の参加をめざし、各テーマ（7色のチャリティカラー）ごとの採用団体数は設定せず、多様なテーマで15団体の募集を行います。

NEW!

チャレンジパートナー枠

- ①多様なテーマでの応募が可能！
- ②15団体を募集！
- ③チャリティランナー枠は5枠～！（※最低でも5枠分の申請枠数を提供）
- ④大阪マラソンEXPO出展や大会当日の活動は選択可能！（※任意）

フラッグシップパートナー枠

①「チャリティテーマ」に基づき、各テーマの分野の活動を行っている団体を対象

- ②7テーマ×2団体＝14団体
- ③チャリティランナー枠は最低20枠～
- ④大阪マラソンEXPO出展や大会当日の活動あり。寄付先団体をリードする存在として、チャリティプログラムに積極的にご参加いただきます。

※「チャリティテーマ」に挙げられた7テーマの活動（次ページ参照）を行う団体を対象とします。

※フラッグシップパートナーとして予定しているチャリティプログラムでの活動

- 大阪マラソンEXPOでの活動
：寄付先団体ブースでのチャリティランナー対応、団体の活動紹介＆PR

- 大会当日の活動（推奨）
：スタート・フィニッシュ会場のチャリティランナー専用エリアでのランナーケア、沿道での応援など

3 応募資格（次の条件を満たす団体）

- 1 大阪マラソンチャリティプログラムに賛同し、組織委員会と協力して、チャリティ文化の普及に主体的に取り組むこと。
- 2 大阪マラソンチャリティプログラムについて積極的に広報・PRすること。（主催者手配のツール活用・各団体発行のメールマガジン配信の活用など）
- 3 寄付先団体は組織委員会が行うチャリティランナーの募集にあたり、募集の呼びかけなど積極的に関わるものとする。また、チャリティランナーのサポートや交流につとめること。
- 4 「フラッグシップパートナー」に応募する団体は、大阪マラソンEXPO 2019へブース出展し、団体ブースの装飾を行い、EXPO会場での広報・PR、ランナーとの交流等を行うこと。なお、「チャレンジパートナー」に応募する団体のEXPO出展義務はありませんが、EXPO会場での広報・PR（職員の配置を伴わないパネル掲出など簡易な方法）につとめること。
- 5 株式会社LIFULL Social Fundingが運営するファンド・レイジング・サイト「ジャパングビング」に支援先団体として登録していること（登録見込み含む）。
※ジャパングビングとは寄付金集めのポータルサイトです。同サイトでは各団体の情報発信を行うことができ、寄付を得られる基盤づくりが整います。
※ ジャパングビングへの新規登録を申請する場合は、下記URL内の「プロジェクトを始める」からお申込みください。なお、資格審査等に7営業日を要します。

●ジャパングビング公式ホームページ URL <https://japangiving.jp/>
- 6 日本国内に拠点を持つ非営利団体で活動実績が応募時点で3年以上、かつ以下の書類が提出可能な団体であること。

※法人格の有無は問わず、任意団体も可。

（例）特定非営利活動法人（NPO法人）、一般社団・財団法人、公益社団・財団法人、社会福祉法人、学校法人等

＜必要書類（＝申請添付書類）＞

定款（規約・会則等）、役員名簿、直近年度の事業報告書・決算書、当該年度の事業計画書・予算書、団体発行の刊行物 ※一般社団・財団法人の場合、非営利型の定款を提出すること

※個別に資料の提出をお願いする場合があります。
- 7 1年間の年度決算書等をWEBで開示していること、かつWEBで活動が閲覧できる団体であること。
- 8 利益を団体の構成員で分配していないこと。万が一、団体が解散する場合でも財産を団体の構成員で分配しない規約になっているかどうか確認できること。
- 9 毎事業年度末に必ず書面で寄付金の用途を記載した事業報告書を組織委員会に提出すること。
- 10 団体名義の金融機関口座を持っていること。
- 11 以下のいずれにも該当しない団体であること
 - 個人的な活動や趣味的なサークルなどの団体
 - 政治活動や宗教活動を主たる目的とする団体
 - 反社会的勢力と関係を持つ団体

4 公募対象分野 ※活動地、支援先は国内・国外問いません

※チャレンジパートナーの場合

各団体の活動テーマ・内容に沿った多様なチャリティテーマでの応募が可能です。

※フラッグシップパートナーの場合

大阪から世界へ、私たちから次の世代へ架ける支援の虹。7色の虹をテーマに、以下のような活動を行っている団体を求めます。それぞれの色は、組織委員会が定めるチャリティテーマカラーです。チャリティテーマについては<http://www.osaka-marathon.com/2018/charity/contribute/>をご参照ください。 ※チャリティテーマの活動内容の見直しを行いました！

赤 色 生きる希望を支える

治療方法が確立していない病気の研究、新たな医療技術の開発に貢献している団体等

オレンジ色 子どもの未来を支える

子どもたちが安心して学び、運動できる環境づくりを行っている団体等

黄 色 家族（子育て中の親と若者を含む）を支える

難病等による長期療養で苦しむ子どもと家族を支援し、病気とたたかう子どもたちにサポート体制が整った施設の提供やサポート活動を行っている団体、待機児童・病児保育や子育て・ひとり親への支援、虐待の撲滅、若者の就労支援に貢献している団体等

緑 色 大阪のまちを支える（大阪応援枠）

大阪の子どもの貧困問題解決に向けた活動を行っている団体や子どもの夢と希望を与える事業に資する活動を行っている団体等

水 色 自然環境を支える

水の供給設備支援や公衆衛生施設の整備、海や川など水辺に生きる生命の保護、水質浄化活動、森林再生や里山等の環境保全活動、都市緑化の推進、自然環境学習に取り組んでいる団体等

紺 色 スポーツ・文化を支える

すべてのアスリートの支援、ジュニアアスリート育成、生涯スポーツの振興、スポーツ施設などの環境整備、文化芸術による子どもの育成を行っている団体等

紫 色 美しいまちと暮らしを支える

地域清掃などまちの美化活動、歴史的景観の保全・修復、高齢者や子どもが暮らしやすいまちづくりや防災教育、災害支援に取り組んでいる団体等

変更

変更

NEW!

5 応募期間・応募方法

平成30年

11月2日(金)～12月7日(金)

【応募方法】

大会ホームページから、応募用紙（申込書、応募用紙）をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、charityoffice@osaka-marathon.com までメールで送信してください。[12月7日(金) 午後5時締切]

応募に当たっては、チャレンジパートナー又はフラッグシップパートナーのどちらかを選択してお申し込みください。なお、フラッグシップパートナーに応募される場合に限り、チャレンジパートナーの同時申し込みができます。

下記添付書類は印刷のうえ、下記まで送付してください。[12月7日(金) 当日消印有効]

＜添付書類・郵送等（各1部）＞

定款（規約、会則等）、役員名簿、直近年度の事業報告書・決算書、当該年度の事業計画書・予算書、団体発行の刊行物

※ 一般社団・財団法人の場合、非営利型の定款を提出すること。

※ 個別に資料の提出をお願いする場合があります。

＜提出先＞

大阪マラソン チャリティ事務局

〒567-0887 大阪府茨木市西中条町5-3-407

office musubime 担当 河合宛

TEL: 090-3928-8986 FAX: 06-7739-5456（平日午前10時～午後5時）

6 寄付先団体数と活動期間

- ＜公募対象寄付先団体数＞ ◇ チャレンジパートナー：多様なテーマで15団体を募集
◇ フラッグシップパートナー：テーマごとに2団体 計14団体

＜チャリティテーマについて＞ ◇ チャレンジパートナーに応募する団体は、多様なテーマでの申し込みを可能とします。

- ◇ フラッグシップパートナーに応募する団体は、
4 の7つの公募対象分野（チャリティテーマ）の中から第1希望と第2希望をお選びください。

＜活動期間＞

平成31（2019）年4月から2020年3月末まで。

7 選考基準

提出された書類に基づき、主催者で書類選考し寄付先団体を決定します。選考結果については、平成31年1月末までに団体あて書面でお知らせするとともに、決定団体名を大会ホームページに掲載します。

※選考内容等への質問、異議申し立てには応じられません。

以下の基準で選考を行います。

選考の視点1：応募動機と活動状況

選考の視点2：チャリティプログラムに対する意欲とコラボレーション企画の提案

- 大阪マラソンを通じたチャリティに意欲があること。
- チャリティランナー制度に対する協力が期待できるか。
- EXPOブースや大会当日の展開案が魅力的かどうか。※フラッグシップパートナーの場合
- 提案が実行可能なものと判断できるか。

選考の視点3：告知や広報活動を積極的に行える団体かどうか

- ホームページなどでの活動発信が充実しているか。
- SNSなどのツールを活用しているかどうか。
- チャリティプログラムの発信方法に先進性、積極性が認められるかどうか。
※フラッグシップパートナーの場合
- 常にPR策に工夫と斬新さが感じられるか。

選考の視点4：募金活動の取り組みについて

- 募金額を増やすための意欲、工夫が見られるか。
- 募金活動に対するノウハウを備えた団体か（過去実績）。
- 大阪マラソンのチャリティの活用成果や有効性が確認できるか。

期待する内容：大阪マラソンへの参加を契機に、大阪の魅力発信や地域社会づくり、地域貢献につながる取り組みを積極的に行える団体かどうか

- 大阪の魅力や歴史／文化等を、大阪マラソンへの参加を契機に効果的に発信したり、地域社会づくりや地域貢献につながる活動を、今後、自らの活動やチャリティランナーの寄付募集等の活動を通して予定している。
- 大阪の地域住民の参加を促進するプログラムの企画・実施。
- 行政や地元企業、地域社会、住民との協働を推進したり、協働につながる取り組みの企画・実施。

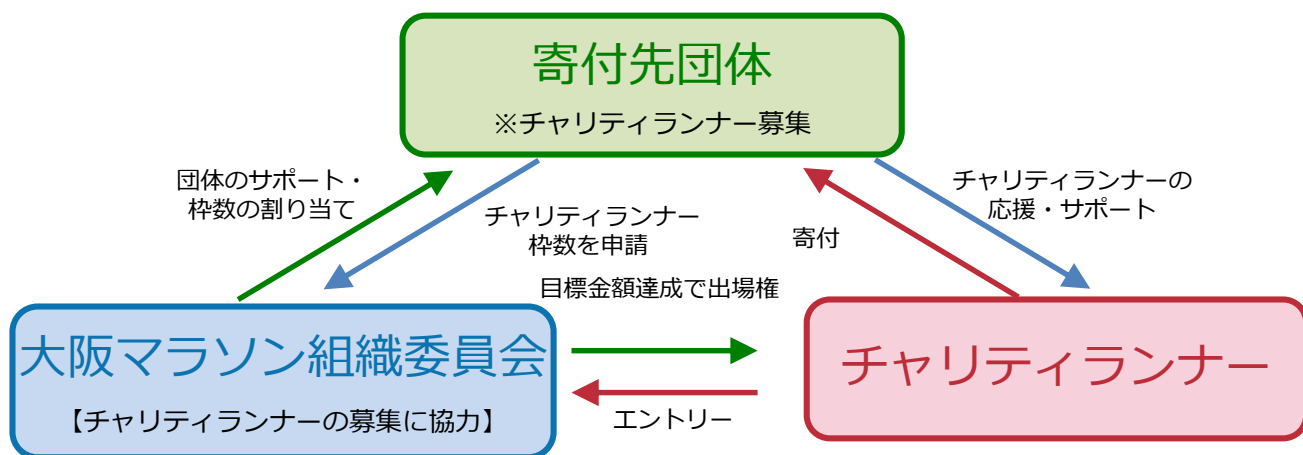
8 寄付先団体にご協力いただきたいこと

寄付先として採択された団体は、組織委員会と協力して **A** ・ **B** の活動を通じてチャリティ文化の普及に取り組んでいただきます。

※チャレンジパートナー・フラッグシップパートナー共通

A チャリティランナー制度への協力

- 大阪マラソン定員 32,000 人のうち、自分が支援したい寄付先団体のために、家族や友人、寄付先団体の活動に共感した人たちなどから寄付を集めていただくチャリティランナー枠を設けています。
- チャリティランナーは自分が支援したい寄付先団体を選び、ジャパングビングに登録してファンドライジング宣言を行い、寄付先団体からの応援もいただきながら期間内に目標額達成（最低7万円）をめざして寄付金を募ります。
- 目標金額達成後、チャリティランナーは大阪マラソンに出場し、集めた寄付金は全額（ジャパングビングの手数料等を差し引いて）当該団体に振り込まれます。



各寄付先団体には、チャリティランナー制度の実施にご協力いただきます。
組織委員会、寄付先団体が一体となってチャリティランナーのチャレンジを支えます。

寄付先団体

- 1 寄付先団体に採用された後に、チャリティランナー枠数を申請していただきます。
 - チャレンジパートナーは5枠～（1枠:16,000円※）の申し込みをお願いいたします。
 - フラッグシップパートナーは、1口10枠（1枠:16,000円※）で、2口～の申し込みをお願いいたします。

※チャリティランナーの総枠数の観点から大阪マラソン組織委員会より上限数を規制することがあります。
そのため、ご希望の数に添えない場合があることを予めご了承ください。

※増税及びエントリー料の見直しに伴い、1枠の価格が変更になる場合があります。

※後日、チャリティランナーの枠数分の費用をお支払いいただきます。
- 2 WEB、SNS、刊行物などのツールを活用し、チャリティランナーの募集や応援、大阪マラソンチャリティプログラム全体の広報・PRを行っていただきます。

チャリティランナー

- 1 ジャパンギビングに登録してファンドレイジング宣言を行い、ファンドレイジングがスタートします。
寄付目標金額には、登録時に徴収する20,000円の寄付金を含みます。
- 2 チャリティランナーの寄付目標金額は、ランナーエントリー時の自己申告制（ただし、7万円以上）にいたします。
- 3 エントリー開始から10月末までがファンドレイジング期間です。その間に、目標金額以上の寄付金を集めて、大阪マラソンに出場していただき、目標金額以上集めることができなかった場合でも、満たない金額分をチャリティランナーご本人に負担していただき、出場していただきます。

大阪マラソン組織委員会

- 1 寄付先団体からの申請に基づき、チャリティランナー枠の割り当て調整を組織委員会で行います。
- 2 4月上旬（予定）から8月末までチャリティランナーのエントリー募集に協力します。
- 3 チャリティランナーが集めた寄付金は、ジャパンギビングを通じて当該の寄付先団体に全額寄付します。（別途、システム利用料等がかかります。）

注意点

本チャリティプログラムは株式会社LIFULL SOCIAL FUNDINGが運営するファンドレイジングサイトと連携して行います。

※フラッグシップパートナーの場合

B 大阪マラソンEXPO 2019 にチャリティブースを出展していただきます。

※但し、日程等の関係でEXPO開催日の活動が難しい場合は、別日にチャリティランナーとの交流・自身の団体の活動報告を行っていただきます。

【ブース出展料は無料】

【会 場：インテックス大阪 期間：2019年・秋を予定】

【設営日：EXPO開催日の前日】

・チャリティブースに設けられたテーマ（色）ごとに配置された各寄付先団体のブースにおいて、ランナーや来場者への団体の活動紹介＆PR、チャリティランナーの対応を行っていただきます。



※ A ・ B の活動詳細および、その他ご協力いただく内容については、寄付先団体の確定後に改めてご連絡をいたします。

9 寄付金について

チャリティプログラムで集まった平成29年度の寄付金は以下の通りです。

	チャリティカラー	チャリティテーマ	寄付先団体名	募金金額
1	紫 色	美しいまちと暮らしを支える	オイスカ	10,223,797円
2			HEELOfife（旧：スマイルスタイル）	6,755,781円
3	紺 色	スポーツ・文化を支える	プール・ボランティア	10,654,616円
4			改革プロジェクト	6,986,812円
5	水 色	自然環境を支える	自然環境復元協会	6,632,368円
6			日本環境教育フォーラム	6,920,417円
7	緑 色	子どもの未来を支える	こどものホスピスプロジェクト	9,868,048円
8			D×P	8,114,806円
9	黄 色	家族を支える	難病の子どもとその家族へ夢を	12,133,021円
10			国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター	6,950,031円
11	オレンジ色	子育てと若者を支える	ノーベル	8,266,034円
12			育て上げネット	7,090,785円
13	赤 色	生きる希望を支える	京都大学iPS細胞研究所	15,385,324円
			がんサポートコミュニティ	8,163,440円
合計				124,145,280円
注釈	●それぞれの色を指定した寄付金は2団体で配分しています。			

注釈 ●それぞれの色を指定した寄付金は2団体で配分しています。

寄付金の配分は以下のようになります

◇ チャレンジパートナー

＜以下の寄付金が配分されます＞

- チャリティランナーが集めた寄付金（ただしジャパンギビングのシステム使用料等を差し引いた金額）
- 各団体専用募金箱への寄付金（毎年6～8月に組織委員会側で制作した募金箱を寄付先団体にお渡ししています）

◇ フラッグシップパートナー

＜以下の寄付金が配分されます＞

- チャリティランナーが集めた寄付金（同上）
- 各団体専用募金箱への寄付金（同上）

＜集まった金額を各テーマカラーに属する団体数により配分するもの＞

- ランナーがエントリー時に選択したチャリティテーマへの寄付金（最低2口1,000円～）

◇ フラッグシップパートナーとチャレンジパートナーで均等に分配

- EXPO・沿道等で集める募金箱の募金 ※2019年度は募金箱にカラー指定を設けない
- チャリティグッズ（なないろチャリティTシャツ、なないろチャリティキャップ、なないろウィンドブレーカー、なないろアームウォーマー、ニックネーム入りナンバーカード）の販売による寄付金

（注意）寄付金の一部はチャリティプログラムの運営費用に充当いたします。

運営費用は、募金箱制作に関わる費用、寄付金の送金手数料等です。

10 寄付金の使途と情報公開・報告について

寄付者に各団体の寄付金活用事業とその寄付金使途を適切に伝えることで説明責任を果たしていただきます。また、寄付者への啓発として、大阪マラソンを通じた寄付文化醸成や大阪マラソンの普及啓発、その実践としての大阪マラソンチャリティプログラムによる各団体のファンドレイジングの取組みについても、寄付で支え・広げていくことが必要であり、寄付金が活用される旨をあらかじめ告知し、寄付金使途の対象となっていることを伝えていただきます。

各団体の寄付の使途については、各団体のウェブサイト等で発信し、情報公開を行っていただくとともに、寄付金活用事業の事業報告とともに寄付金の使途報告を提出していただきます。

(注意) 大阪マラソン組織委員会事務局として寄付金の充当が妥当ではないと思われる内容については、当該団体と調整の上、対象外とする場合があります。
詳細は、寄付先団体確定後に行う説明会でご説明をさせていただきます。

11 寄付先団体の取り消しについて

各団体が以下に掲げるいずれかの行為を行った時は、組織委員会の判断により、寄付先団体の資格を取り消します。

- 1 **3** に定める応募資格を満たさなくなった場合。
- 2 寄付先団体またはその取引先が反社会的勢力の構成員もしくはその関係者であることが明らかになった場合。
- 3 団体が活動を停止する場合、あるいは解散またはその手続きに入った場合。
- 4 法人格の認証が取り消されるなど非営利団体としての活動が困難な場合。
- 5 報告書の提出を怠り、年度末から催告したにもかかわらず、1ヶ月間提出しない場合。
- 6 提出する書類に虚偽があった場合。
- 7 その他組織委員会が問題があると判断した場合。

寄付先団体の取り消しによる寄付金の取り扱いについて

- 1 チャリティランナーが集めた寄付金はジャパンギビングに登録している「大阪マラソン組織委員会」に全額移行し、当該年度の全団体に均等に配分します。なお、組織委員会に納入されたチャリティランナーの枠数分の費用は資格を取り消した団体には返金いたしません。
- 2 テーマカラーの指定がない募金箱で集められた募金は、組織委員会が資格を取り消した団体を除く団体数で配分します。各ランナーがエントリー時に選んだ、チャリティテーマへの寄付金、なないろチャリティTシャツ、なないろチャリティキャップ、なないろチャリティウィンドブレーカー、ニックネーム入りナンバーカードの寄付金も同様の扱いとします。
- 3 組織委員会は寄付先団体の取り消しによる各寄付者からのクレーム、事務処理に関する出費、風評被害その他の損害について、当該団体に損害賠償請求できるものとします。

【お問い合わせ・提出先】

大阪マラソン チャリティ事務局

〒567-0887 大阪府茨木市西中条町5-3-407

office musubime 担当 河合宛

TEL: 090-3928-8986 FAX: 06-7739-5456 (平日午前10時~午後5時)

メール: charityoffice@osaka-marathon.com